

学位論文審査の結果の要旨

1. 申請者氏名	鳥井 淳貴
2. 審査委員	主 査：（兵庫教育大学准教授） 中須賀 巧 副主査：（岐阜大学教授） 春日 晃章 委 員：（兵庫教育大学教授） 筒井 茂喜 委 員：（岡山大学教授） 足立 稔 委 員：（滋賀大学教授） 辻 延浩
3. 論文題目	批判的思考態度を育む大学体育実技に関する実証的研究
4. 審査結果の要旨	<p>教科教育実践学専攻生活・健康系教育連合講座 鳥井 淳貴 から申請のあった学位論文について、兵庫教育大学学位規定第16条に基づき、下記のとおり審査を行った。</p> <p>論文審査日時：令和8年2月19日（木）15時00分～16時30分</p> <p>場所：オンライン</p> <p>1) 学位論文の構成と概要</p> <p>【序 章】 大学体育実技や批判的思考態度の概念整理および先行研究のレビューが示され、本研究の目的として、大学体育実技に着目し、批判的思考態度と運動動機づけ・学修成果との関連を検討し、その教育的意義を明らかにすることが論じられた。</p> <p>【第1章 運動習慣獲得に関わる心理的要因】 批判的思考態度は自律的動機づけを介して運動継続への自信と関連し、運動習慣形成の基盤となる可能性が示された。</p> <p>【第2章 批判的思考態度の育成】 大学体育では、熟達雰囲気は批判的思考態度と正に関連し、成長や内省を重視する環境がその育成に有効である可能性が示された。</p> <p>【第3章 体育の学修成果】 大学体育における批判的思考態度が学修成果（主観的恩恵評価）と関連し、学習者の思考態度の再編に寄与する可能性が示された。</p> <p>【第4章 総括】 本研究全体の成果を統合し、大学体育における批判的思考態度の教育的意義と今後の展望について総合的に考察された。</p> <p>2) 審査経過</p> <p>本研究は、批判的思考態度の育成に着目し、大学体育実技の文脈で実証的検討を行った点に独創性と新規性がある。これまで十分に検討されてこなかった大学体育実技と批判的思考態度との関連を明らかにしたことは、当該分野に新たな視座を提示し、学術的意義は大きい。特に、熟達雰囲気に基づく授業づくりが批判的思考態度の育成に有効であることを示し、学習環境構成の重要性を明らかにした点は高く評価できる。また、その育成が運動への動機づけを高め、運動継続への自信につながる可能性を示したことも、大学体育実技の意義を再考させる知見である。今後は、講義形式への適用や個人要因を踏まえた検討、「批判的」概念の再考や実践的研究への発展なども期待される。よって、本研究は独創性、発展性、実践貢献度、社会的意義の各側面で高く評価でき、学位論文として十分な水準に達している。</p> <p>3) 審査結果</p> <p>以上により、本審査委員会は 鳥井淳貴 の提出した学位論文が博士（学校教育学）の学位を授与するにふさわしい内容であると判断し、全員一致で合格と判定した。</p>